

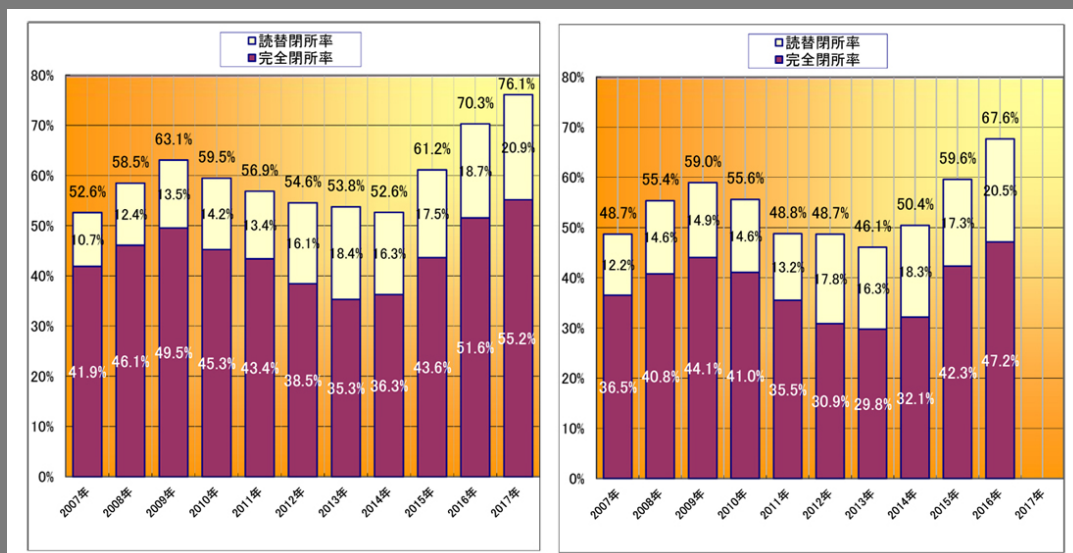
R48 ROADMAP



「アールよんぱち」2017.10.31 No.28

2017年6月 統一土曜閉所運動結果

閉所率は 76.1%と、統一土曜閉所運動として過去最高だった前年同月の 70.3%を大きく上回る結果となった。完全閉所率も過去最高の 55.2%となった。工事別にみると、土木工事で 77.2%、建築工事で 75.1%であった。参加した 32 加盟組合の内、18 組合において閉所率が向上した。



6月統一土曜閉所運動
2017.6月

11月統一土曜閉所運動
2017.11月

出典：日建協「2017.6.12 日建協統一土曜閉所運動結果」

統一土曜

2017年6月 統一土曜閉所運動結果

～統一土曜閉所運動過去最高記録を更新～

トピック

日建連の取り組み

～働き方改革に関する4点セット～

コラム

飛躍の刻をむかえ

本誌について

「Roadmap48」とは

4週8休(週休2日制)の実現を中心テーマとした広報誌です。日建協の時短推進活動や政策提言、そして組合員のみなさんに是非とも知ってもらいたい建設産業に関わるトピックスなど、おり交ぜながらお伝えしています。

①組合活動の資料として、②職場での情報交換の材料としてご活用ください。

□この広報誌は日建協ホームページからダウンロードできます。

問い合わせ

日本建設産業職員労働組合協議会
政策企画局 産業政策グループ
<http://nikkenkyo.jp>

建設産業における労働環境改善のシンボルである統一土曜閉所運動の 2017 年 6 月の結果は、2 年連続で最高閉所率を記録しました。閉所率改善の背景には、組合員の意識高揚だけでなく、行政・業界団体・企業の危機感の高まりがあげられます。入職者の減少、離職者の増加により進行している担い手不足に対し、これまでの建設産業の在り方では産業の先細りが避けられないとの危機感がうかがえます。今回の運動では、国交省が地方整備局を通じ運動への協力を呼び掛けるなど、強力な後押しが見られました。また、業界団体である日建連は、2017 年 3 月に週休二日推進本部を設置し、作業所を原則土曜閉所にするという方針を示しました。企業に対する強いメッセージであり、本運動に対する強力な後押しとなったといえます。

日建連の取り組み

- 一、働き方改革推進の基本方針
- 一、時間外労働規制化に向けた自主規制
- 一、週休二日実現行動計画試案
- 一、改めて労務賃金改善の推進

9 月 22 日に日建連が発表した施策のうち、中心をなすのが上記 4 点セットです。「時間外労働規制化に向けた自主規制」については、制定前に日建協から意見発信した内容も盛り込まれています。今後は年間の所定外労働時間を年 720 時間以下にしなければいけません。720 時間の働き方のイメージがつきにくいと思いますので、機関誌「Compass Vol.813」を参考にしてください。

～働き方改革に関する4点セット～

「週休二日実現行動計画」

策定に向けてのスケジュール

1. これまでの経緯
 - 3 月 27 日 「週休二日推進本部」の設置
2. 今後の予定
 - 10～11 月 建設関連団体（全建、全中建他）
建専連、全建総連、日建協、
連合 意見交換
 - 12 月 22 日 日建連理事会にて
「週休二日実現行動計画」を
了承、公表
 - 来年 2 月末 会員各社の行動計画策定

飛躍の刻をむかえ

統一土曜閉所運動を軸とした所定外労働時間削減にむけた取り組みが実を結び、政府が主導する「働き方改革」のなかで、建設産業も日建協が主張してきた適用除外業種から脱却することとなりました。また、日建連は土曜閉所について、2019 年度からは毎月 2 回閉所、5 年後には土曜日の完全閉所を打ち出しました。作業所に従事するものの健全な生活を維持するためには、「土曜を完全閉所しなければいけない」と長きに渡り主張してきた先輩諸兄の活動が実りつつあるのではないのでしょうか。「4 週 8 休」を掲げた当時は見果てぬ夢であったかもしれませんが、今個人での「4 週 8 休」はもう目の前に来ています。建設産業の未来を担うもののためにもともに実現にむけ頑張りましょう。

